

令和4年度大学入学選抜に係る大学入学共通テスト

受験上の注意

受験に当たっては、この「受験上の注意」と「受験案内」をよく読んでください。
また、試験当日はこの「受験上の注意」を持参してください。

次の(1)～(5)は、令和4年度大学入学共通テストを受験するに当たって、特に気をつけなければならない注意事項ですので、試験前に必ず確認してください。

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策等については、3ページから7ページに記載していますが、今後重要な連絡事項等がある場合は、大学入試センターのホームページ（→裏表紙）に掲載しますので確認してください。
- (2) 試験当日、発熱・咳等の症状があるなど、体調不良の場合は、無理して受験せず、追試験の受験を申請してください。（→16ページ）
- (3) 試験場内では、昼食時を除き、常にマスクを正しく着用（鼻と口の両方を確実に覆う）し、手指消毒や「三つの密」の回避などを行うとともに、休憩時間や昼食時、入退場時等は他の受験者との接触、会話を極力避けてください。
- (4) 「地理歴史、公民」及び「理科②」の試験時間において「2科目受験する」と登録した場合は、試験当日に1科目のみを受験することはできません。このため、遅刻者の試験室への入室限度（「地理歴史、公民」は9:50、「理科②」は16:00）までに入室しないと、後半の第2解答科目を含めて、その試験時間は一切受験することができません。
また、第1解答科目のみを受験し、途中退室することもできません。
- (5) 受験する教科によっては、類似の名称の科目（例えば「倫理」と「倫理、政治・経済」、「数学Ⅰ」と「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」と「数学Ⅱ・数学B」など）が同一の問題冊子に編集されていますので、解答する科目が掲載されているページを間違えないようによく確認してください。

2 新型コロナウイルス感染症対策

大学入学共通テストにおける新型コロナウイルス感染症対策は、「令和4年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト 新型コロナウイルス感染症対策等」及び「令和4年度大学入学共通テスト 健康状態チェックリスト」（以下、「健康状態チェックリスト」という。）を、大学入試センターのホームページ（→裏表紙）に掲載しているところですが、受験に当たっての具体的な感染症対策として、以下の事項に留意してください。

(1) 試験前

- ① 日頃から、「三つの密」の回避や、「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗いなどの手指衛生」をはじめとした基本的な感染症対策を徹底するとともに、バランスのとれた食事、適度な運動、休養、睡眠など、体調管理を心がけてください。

また、他の疾病への罹患等のリスクを減らすため、各自の判断において予防接種を受けることを検討してください。



（参考）受験生のみなさんへ ～新型コロナウイルス感染防止のための注意事項～

https://www.mext.go.jp/content/20201218-mext_daigakuc02-000005144_1.pdf

- ② 試験日の2週間程度前から、朝などに体温測定を行い、「健康観察記録」（→23ページ）を記入の上、体調の変化の有無を確認してください。
- ③ 試験日の2週間程度前から発熱・咳等の症状があるなど、体調不良の場合は、あらかじめ医療機関を受診し、適切な治療を受けてください。
- ④ 新型コロナウイルス等の感染症に罹患し、試験日に入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の者は、他の受験者や監督者等に感染するおそれがあるため受験できません。追試験の受験を申請してください。また、試験当日に発熱・咳等の症状があるなど、体調不良の場合は、無理して受験せず、追試験の受験を申請してください。（→16ページ）
- ⑤ 保健所から新型コロナウイルス感染症患者との濃厚接触者として健康観察や外出自粛を要請されている者のうち、無症状の者については、以下のア～エの要件を全て満たしている場合に受験が認められます。受験を希望する場合には、令和4年1月14日（金）の午前10時までに、受験票に記載されている「問合せ大学」に電話連絡してください。

なお、要件を一つでも満たさない場合は受験できませんので、追試験の受験を申請してください。（→16ページ）

ア 初期スクリーニング（自治体又は自治体から指示された医療機関が実施するPCR等の検査（行政検査））の結果、陰性であること。また、その後の検査の結果においても陽性であることが判明していないこと

※ 受験者が自治体（保健所）から指示されていない医療機関等で自主的にPCR検査を受けた場合、その結果が陰性であっても受験することはできません。

※ 初期スクリーニングの検査結果が判明するまでは受験はできません。

※ 初期スクリーニング後の検査においては、直近の検査の結果が判明していない場合であっても受験することができます。

イ 受験当日も無症状であること

ウ 公共の交通機関（電車，バス，タクシー，航空機（国内線），旅客船等）を利用せず，かつ，人が密集する場所を避けて試験場に行くこと

エ 終日，別室で受験すること

（注）「問合せ大学」にまず電話連絡した上で，以下の事項について志願者本人が自署した書面をメール・ファックス等で提出してください。

- ・試験場コード及び受験番号
- ・氏名及び緊急連絡先
- ・濃厚接触者に該当すると判断した保健所の名称
- ・保健所から濃厚接触者に該当すると連絡があった日
- ・保健所から健康観察期間として不要不急の外出を控えるよう指示されている期間
- ・初期スクリーニング（自治体又は自治体から指示された医療機関が実施するPCR等の検査（行政検査））の結果及びその後に検査を受けている場合はその結果
- ・B.1.1.529 系統（オミクロン株）への感染が確定した患者等の濃厚接触者で，宿泊施設等からの外出が認められている場合はその旨を記載

⑥ 海外から日本に入国して受験する場合は，防疫対策上，入国後の待機期間中は受験することができません。

⑦ 「新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA:COVID-19 **C**ontact **C**onfirming **A**pplication）」は，利用者が新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性がある場合に通知を受けることができるものであり，その後の検査の受診など保健所のサポートを早く受けることができるため，活用することが望ましいです。また，地域独自のQRコード等による追跡システムがある場合には，そちらも活用することが望ましいです。

なお，通知を受けたことにより直ちに濃厚接触者であることを意味するものではありません。

⑧ 受験に当たって，新型コロナウイルス感染症に罹患していないことの証明は必要ありません。また，新型コロナウイルスワクチンを接種していなくても受験することができます。

(2) 試験当日

① 体調不良時の対応

ア 試験当日，発熱・咳等の症状があるなど，体調不良の場合は，無理して受験せず，追試験の受験を申請してください。

特に，「健康状態チェックリスト」の確認項目のうち，A欄で1項目以上又はB欄で2項目以上該当する場合は，他の受験者や監督者等の安全確保のため，受験できません。追試験の受験を申請してください。（→16 ページ）

なお，1日目に追試験の受験を申請した場合は，2日目についても追試験の受験を申請することになります。

○ 健康状態チェックリスト

	確認項目
A	発熱の症状がある (37.5 度以上)
	息苦しさ (呼吸困難) がある
	強いだるさ (倦怠感) がある
B	味を感じない (味覚障害がある)
	臭いを感じない (嗅覚障害がある)
	咳の症状が続いている
	咽頭痛が続いている
	下痢をしている (持病や食あたりなど新型コロナウイルス感染症以外の原因が推測されるものを除く)
	過去 2 週間以内に、同居している者で医療機関を受診して新型コロナウイルス感染症の罹患が疑われ、かつ、その疑いが否定されないまま症状が続いている者がいる、又は、過去 2 週間以内に、政府から入国制限、入国後の待機期間を必要とされている国・地域等の在住者との濃厚接触 (1m 程度以内で 15 分以上接触) がある

イ 「健康状態チェックリスト」の確認項目にないその他の体調不良の場合も、無理して受験せず、追試験の受験を申請してください。(→16 ページ)

ウ 試験場に到着してから発熱・咳等の症状があるなど、体調不良になった場合は、休養室等で医師等により「健康状態チェックリスト」に基づき症状等を確認後、追試験の受験を申請していただくことがありますので、監督者や試験場の担当者に申し出て、指示に従ってください。

エ 試験時間中に、明らかに激しい咳を何度もしているなど、他の受験者に影響があると監督者が判断した場合には、咳をしている受験者の受験を中断して休養室等へ移動してもらい、症状等の確認後、追試験の受験を申請していただくことがあります。(→16 ページ)

② 試験場への入場

ア 各試験場では、入場時の混雑を避けるための対策をしていますので、受験票に記載されている「問合せ大学」のホームページ等を確認してください。

イ 受験者以外の入場は、受験上の配慮として付添者の同伴を許可された場合に限りです。許可のない保護者等の入場はできません。

③ マスク着用

ア マスク (予備のマスクを含む。) を持参し、試験場内では常にマスクを正しく着用 (鼻と口の両方を確実に覆う) してください。

フェイスシールド又はマウスシールドの着用のみでは、受験することはできません。

なお、病気・負傷や障害等によりマスクの着用が困難な場合で、出願時までには受験上の配慮申請ができなかった者は、大学入試センター事業第 1 課 (→裏表紙) に連絡してください。

また、受験上の配慮申請を行わずに試験当日にマスクを着用できないことを申し出た場合は、マスクを着用せずに受験することはできないため、追試験の受験申請及び受験上の配慮申請をしていただくことになります。(→16 ページ)

イ 使用済みのマスクについては、試験場で廃棄せず、必ず自宅等に持ち帰ってください。

(参考) 正しいマスクの付け方

- ・鼻と口の両方を確実に覆ってください。
- ・品質の確かな、できれば不織布マスクを着用してください。



<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000593493.pdf>

(厚生労働省ホームページ)



<https://corona.go.jp/proposal/>

(内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室ホームページ)

④ 手指消毒の実施

ア 各試験室や受験者控室の出入口付近に速乾性アルコール製剤等を設置しますので、入退室を行うごとに手指消毒を行ってください。

イ 何らかの事情により、速乾性アルコール製剤等を使用することが難しい場合は、受験者自身でこれに代わるものを準備し、手指消毒を行うようにしてください。

⑤ 休憩時間

ア 休憩時間等は、他者との接触、会話を極力控えるとともに、試験室内では自席以外に座らないでください。

イ トイレを使用する場合は、フロアの誘導表示に従うなど混雑を避けて利用してください。また、手洗い後に使用するハンカチ、ハンドタオル等は各自持参してください。

⑥ 昼食

ア 昼食は、試験場の食堂等が開放されていないため、各自持参の上、以下の時間に、自席で食事をとってください。

・1日目：「地理歴史、公民」の試験終了後から、「国語」の受験者入室終了時刻の15分前まで

・2日目：「数学①」の試験終了後から、「数学②」の受験者入室終了時刻の15分前まで

イ 昼食時は、マスクを着用していないことから、他者との接触、会話は特に控えてください。また、食事をとり終えた後は、速やかにマスクを正しく着用（鼻と口の両方を確実に覆う）してください。

⑦ 服装

試験当日は、試験室内の換気のため窓の開放等を行う時間帯があるため、上着などを持参してください。

⑧ 試験室からの退室

試験終了後、試験室からの一斉退室による混雑を避けるため、監督者から退室方法等について指示がありますので、その指示に従って退室してください。

(3) 試験終了後

① 帰宅の際は、「三つの密」の回避など新型コロナウイルス感染症に感染しないような行動をすると

ともに、帰宅後は手洗い等の感染症対策を十分に行ってください。

- ② 試験終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症に罹患したことが判明した場合は、受験票に記載されている「問合せ大学」に連絡してください。

3 受験教科・科目

- (1) 受験票には、受験教科・科目に関する事項を表示していますので、登録内容と受験票の表示内容に誤りがないかをよく確認してください。

また、訂正届を提出した場合は、訂正した内容のとおり表示されているかを確認してください。

万一、表示内容に誤りがある場合は、受験票を再発行する必要がありますので、直ちに大学入試センター事業第 1 課（→裏表紙）に電話で連絡してください。

- (2) 試験当日は、受験票の受験教科名欄に「○」が表示された教科（登録した教科）以外を受験することはできません。万一、登録していない教科（「―」を付した教科）を受験しても、その教科は採点されません。

- (3) 次表の理科の科目選択方法（A～D）を試験当日に変更することはできません。

グループ	出題科目	科目選択方法
理科①	「物理基礎」 「化学基礎」	A：理科①から 2 科目を選択
	「生物基礎」 「地学基礎」	B：理科②から 1 科目を選択
理科②	「物理」 「化学」	C：理科①から 2 科目及び理科②から 1 科目を選択
	「生物」 「地学」	D：理科②から 2 科目を選択

- (4) 「地理歴史、公民」及び「理科②」について、受験票の備考欄に「登録科目数 2」と表示されている場合、試験当日に 1 科目のみを受験する（1 科目だけ受験を取りやめる）ことはできません。「2 科目受験する」と登録した場合、2 科目分を採点（前半の 60 分を第 1 解答科目、後半の 60 分を第 2 解答科目として採点）します。

同様に、「登録科目数 1」と表示されている場合、試験当日に 2 科目を受験することはできません。

- (5) 「地理歴史、公民」及び「理科②」の試験時間において「2 科目受験する」と登録した場合、志望大学の募集要項等で、第 1 解答科目と第 2 解答科目の取扱いをよく確認の上、第 1 解答科目と第 2 解答科目の解答順を決定してください。

- (6) 「地理歴史、公民」の受験科目は、登録した受験科目数に従って、試験当日に地理歴史と公民を合わせた 10 科目の中から選択し、解答することができます。

ただし、「地理歴史、公民」を「2 科目受験する」と登録した場合は、例えば「倫理」と「倫理、政治・経済」のように、同一名称を含む科目の組合せで 2 科目を選択することはできません。（→13 ページ）

- (7) 「理科①」は試験時間 60 分で必ず 2 科目を受験してください。1 科目のみの受験は認めません。なお、解答する科目の順序と時間の使い方は自由です。

- (8) 「理科①」と「理科②」を受験する場合は、同一名称を含む科目の組合せ（例えば「物理基礎」と「物理」など）で選択して解答することができます。

ただし、大学によっては認めていない場合もありますので、志望大学の募集要項等で、「理科①」と「理科②」の科目選択の取扱いをよく確認してから受験してください。